

令和5年度 登別市下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

本年度は、人口減少や節水意識の高まりにより、下水道使用料の収益が減少したほか、物価上昇等に伴い維持管理費が増加するなど、引き続き厳しい経営環境に置かれました。

こうした厳しい社会情勢の中、持続可能な事業経営を行うため、コスト縮減に努めながら、維持管理に資する施設整備を計画的に実施するなど、効率的な経営に努めました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを実施しました。

イ 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ24,793 m³減少の3,066,393 m³、個別排水処理施設事業で前年度に比べ108 m³増加の17,595 m³となりました。

ロ 建設改良事業

管渠建設費においては、中央町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの計装設備の改築更新を行いました。

ハ 施設の現状

本年度末における施設の現況は、次のとおりです。

- ・終末処理場 若山浄化センター
(施設構成) ポンプ棟、オキシデーションディッチ、最終沈澱池、塩素混和池、汚泥処理棟、送風機棟
- ・ポンプ場 3 か所 (若草ポンプ場、幌別ポンプ場、登別ポンプ場)
- ・管渠 污水管 延長 2 6 4, 0 6 4. 2 8 m
雨水管 延長 4, 8 2 9. 5 8 m

ニ 財政状況

収益的収支 (税抜き)

収入は、営業収益 7 億 4 4 1 万 2, 2 6 2 円 (うち使用料 6 億 4, 7 0 8 万 6, 7 7 1 円)、営業外収益 9 億 4, 4 2 8 万 7 7 0 円、特別利益 6 5 9, 8 8 6 円の合計 1 6 億 4, 9 3 5 万 2, 9 1 8 円となりました。

これに対し支出は、営業費用 1 3 億 3, 9 0 1 万 7, 4 6 4 円、営業外費用 2 億 2 3 5 万 8, 0 0 6 円、特別損失 1 8 万 3, 5 4 0 円の合計 1 5 億 4, 1 5 5 万 9, 0 1 0 円となり、収支差引による当期純利益は 1 億 7 7 9 万 3, 9 0 8 円となりました。

資本的収支 (税込み)

収入は、企業債 6 億 6, 8 4 0 万円、負担金及び分担金 1, 0 5 0 万 8, 5 9 4 円、補助金 4 億 1, 4 0 3 万 8, 8 8 4 円の合計 1 0 億 9, 2 9 4 万 7, 4 7 8 円となりました。

これに対し支出は、建設改良費 5 億 9, 1 7 0 万 6 7 3 円、企業債償還金 1 2 億 4, 5 2 7 万 6, 3 8 2 円の合計 1 8 億 3, 6 9 7 万 7, 0 5 5 円となり、収支差引による不足額は、7 億 4, 4 0 2 万 9, 5 7 7 円となりました。

この不足額については、損益勘定留保資金などで補てんしました。